

# 埼玉県生協連 7 月度まとめと今後の課題

2019 年 8 月 7 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

## 1. 全体状況

### (1) 会員生協総代会・総会の状況

7 月 29 日、埼玉県労働者共済生活協同組合の総代会が行われ、全ての議案が可決されました。なお、総代会・総会については、9 月に開催される第 2 回理事会で交流を行う予定です。

### (2) 第 1 回組合員学習会

「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」開催

7 月 3 日、4 生協 72 人の参加で、多世代サロンや子ども食堂、フードバンクとフードドライブ活動、小児虐待対策、埼玉県の子どもの居場所づくり支援策など 8 つの取り組み報告とグループ交流をおこないました（別紙 1 報告）。

### (3) 埼玉県と埼玉県生協連の定期協議

7 月 31 日、2019 年度第 1 回埼玉県と埼玉県生協連定期協議を行いました。2020 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望を提出した他、埼玉県からは今年度の生協検査などに関する発言がありました（別紙 2 報告）。

### (4) 2019 年度第 1 回災害対策委員会

7 月 25 日、2019 年度第 1 回災害対策委員会を行いました。九都県市防災訓練に関する話し合い、各生協の取り組みについて交流しました（別紙 3 報告）。

## 2. 分野の取り組み状況

### (1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 7 月 13 日、埼玉県内災害ボランティア団体のネットワーク組織「彩の国会議」の 2019 年度第 1 回定例会が行われ、24 団体 38 人が参加しました。埼玉県生協連からも 2 人が参加し、今年度の「彩の国会議」の活動計画の報告や、災害ボランティア団体のネットワークの果たす役割についてのワークショップを行いました。
- ② 2019 コヨット in 埼玉（9 月 14・15 日）の募集案内チラシを作成し、7 月 29 日（月）から福島県生協連で募集を開始しました。（別紙 4 報告）
- ③ 「消費者被害防止サポーター活動推進事業」については、第 1 回フォローアップ研修と交流会を県内 4 会場で開催し、73 人のサポーターと 10 人の消費行政職員が参加しました。これで第 1 回フォローアップ研修、交流会は 7 会場すべて終了しました。また、7 月 11 日に坂戸市で福祉見守り担当者講座を開催し、坂戸市区長会に皆さん 103 人が参加しました（別紙 5 報告）。
- ④ 「高齢者見守り促進事業」では 3 市を訪問し、消費者安全確保地域協議会の設置やサポーターと連携した啓発活動について意見交換しました。
- ⑤ 適格消費者団体の取り組み（差止および被害回復）では、現在 1 件の訴訟が継続中です。28 日理事会にて、あらたに書面による差止請求 2 件、申入れ 2 件が承認されました。差止請求 0 件（累計 0 件）、申入れ 1 件（8 件）、お問合せ対応は 2 件（21 件）、検討中 13 件でした。被害回復の取り組みは、申入れ 0 件（1 件）、お問合せ 0 件（0 件）、検討中 2 件でした。

差し止め 訴訟	NTT ドコモ	最高裁判所から上告不受理の連絡が届きました。
差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第 8 回期日が、9 月 11 日（水）10 時 30 分さいたま地裁で行われます。

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41 条書面)→訴訟

- ⑥ 10 月 5 日開催の「さよなら原発埼玉県民集会」に向けて準備を進め、第 1 弾のチラシを作成しました。いったんの周知用として活用いただき、今後の実行委員会を受けて修正していきます(別紙 6 報告)。
- ⑦ フードバンク埼玉第 1 回理事会・運営委員会が 7 月 24 日に開催され、仕分け・配送ボランティアへの謝金(実費交通費等)について、弁護士からの支援要請への対応などについて協議しました。

## (2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 7 月 28 日、「第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式(主催・埼玉県原爆被害者協議会、協力・同実行委員会)」を開催し、260 人が参列しました。埼玉県内原爆死没者名簿には今年度あらたに 88 人が記載され、1,617 人の名簿が奉納されました。慰霊式の最後には平和への想いを込めて「原爆許すまじ」を斉唱しました。
- ② 7 月 27～29 日「2019 平和のための埼玉の戦争展(同実行委員会主催)」が浦和コルソホールで行われ、期間内に 8,500 人が会場を訪れました。なお、開催にあたっては会員生協の皆さんが、分担金協力、会場設営スタッフ、受付スタッフとして運営を支えました。
- ③ ヒバクシャ国際署名は、埼玉連絡会全体では 315,247 筆(7 月末日時点集約)となりました。埼玉県原爆死没者慰霊式の終了後には埼玉連絡会主催で、JR 浦和駅東口で署名行動を行い、76 筆が寄せられました。

## (3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報 7 月号(通常総会・総代会特集号)、写真ニュース夏号を発行しました。
- ② 会長理事の就任に伴い、マスコミ支局 9 社を訪問しました。

## 3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

### (1) 行政

- ① 埼玉県環境審議会の委員を吉川会長理事に変更する手続きを行いました。任期は前任者を引き継ぎ、2020 年 7 月 31 日までです。

### (2) 埼玉消団連

- ① 第 55 回埼玉県消費者大会プレ学習会を 7 月 12 日に開催し、95 人が参加。「わたしたちのくらしと憲法のかかわり」と題して、弁護士の伊藤真さんに講演いただきました。
- ② 市町村における消費生活関連事業調査表を発送しました。
- ③ 埼玉県プラスチック問題対策協議会に出席しました。
- ④ 「近いがうまい埼玉産」地産地消推進会議に埼玉消団連、県生協連、新婦人から出席し、消費者団体の取り組みを報告しました。
- ⑤ 「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」への名義後援を確認しました。

## 4. 今後の課題

- ・ 埼玉県消費者大会本冊子作成準備、分科会・記念講演等準備を行います。
- ・ 埼玉消団連として市町村消費生活関連事業調査の集計準備。8 月 27 日県内消費者団体全体研修会集約と準備を行います。
- ・ 九都県市合同防災訓練(8 月 31 日 和光市)の実施にむけた準備を行います。
- ・ 2019 コヨット in 埼玉(9 月 14・15 日)の実施にむけた準備を行います。
- ・ 適格消費者団体連絡協議会(9 月 7・8 日)参加に向けた準備をおこないます。

# 第1回組合員学習会「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」報告

埼玉県生協連の2019年度の3つの重点課題のひとつである「子どもの貧困や生活困窮者への支援」、また地域コミュニティづくりや見守り、多世代が集まる場づくりなどについて、各生協と県内で活動する団体の取り組みを学び、相互理解を深め、今後の活動につなげることを目的に、第1回組合員学習会を開催しました。



2019年7月3日（水）10時30分～13時 浦和コミュニティセンター 第13集会室  
 対象 地域で組合員活動に関わり、運営・サポートをおこなっている方  
 参加 4生協72人（報告者含む）

## 1. 開催内容

はじめに、専務理事の吉川尚彦より、学習会の開催趣旨と地域社会づくりにとりくむことの意味などについてあいさつがあり、次に、以下の順で取り組み報告、その後交流しました。

報告1 多世代コミュニティキッチン「おーい、ココロンくらぶ」 竹部初美さん

報告2 シニアの居場所づくり座談会について

パルシステム埼玉 石川誠さん

報告3 子ども食堂「いっしょにたべよ」

ポトフ 大島玲子さん

報告4 子ども食堂「シャローム食堂」

北川由美子さん

報告5 フードバンク埼玉について

永田信雄さん

報告6 フードドライブ活動を通して

ワーカーズコープ 石川睦子さん

報告7 埼玉協同病院小児虐待対策チームのとりくみ

木賊敦子さん

報告8 埼玉県のとりくみ 福祉部少子政策課こどもの未来応援担当 大山典宏さん  
 振り返りと共有（前後でグループになって交流）



## 2. 寄せられた感想（抜粋）

いろいろなコンセプトのこども食堂の話が聞けてよかった。70代、80代のボランティアさんが多いというのに驚いた/これからは地域のつながり、居場所づくり、助け合いがとても大切になってくると感じた/シニアの居場所づくり、何も用意せずに待つのは勇気が要るが、ゆるやかさが斬新で、その後の展開を知りたいと思った/フードバンクの取り組みや、フードドライブで集まった食品の行方、生活困窮者支援について改めて理解できた/埼玉県が子ども食堂の立ち上げ支援やマッチングしていることを初めて知った/医療生協のとりくみを聞く機会が少なく、聞けてよかった。チームで対応していることに感銘した。生協のプロらしい活動だと思った

## 3. 今後に向けて

子ども食堂やフードバンク埼玉の見学、さらなる居場所づくりの学習などへの要望があり、実施を検討していきます。

埼玉県知事  
上田 清司 様

埼玉県生活協同組合連合会  
会長理事 吉川尚彦

## 2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望

埼玉県におかれましては、食の安全や消費者行政、環境や福祉など県民生活全般において施策を積極的に推進されていることに敬意を表します。また、日頃より当会に対しご高配いただき感謝申し上げます。

さて、私ども埼玉県生活協同組合連合会と会員生協は、通常総（代）会を終了し、新たなスタートを開始することができました。これもひとえに、多くの皆様のご指導・ご鞭撻の賜物と感謝申し上げます。

なお、埼玉県生協連参加の生協は、2019年3月末で以下のような状況になっております。

埼玉県生活協同組合連合会の現勢

組合員数	約 221 万人
総事業高	約 4,535 億円※1
出資金総額	約 900 億円

※1 都県を超えて活動している生協は、他都県を含めた生協全体の事業高を合計しました。

埼玉県内の世帯数約 300 万世帯のうち、会員生協の組合員は 221 万人となりました。埼玉県生協連に加盟する県内 16 の生協は、購買、医療、福祉、大学や学園、共済、住宅、保育などの事業を通して、食の安全や環境に配慮した取り組み、災害時の支援、消費者被害防止など、社会的な役割を発揮し、くらしの安全・安心の確保に努めてまいりました。

生協組合員や消費者のくらしは、この間の生活必需品の高騰による負担増、そして年金・医療・介護等の社会保障への将来不安もあり厳しさを増しています。引き続き、生協の事業・活動を強化するとともに誰もが安心してくらす社会をめざす取り組みが大切になっています。

また、生活に困窮する低所得者が増加しています。生活保護受給世帯は高止まりし、とりわけ高齢世帯が約半分を占めるなど深刻な現状です。また、格差・貧困が広がる中、子どもの貧困やワーキングプアも深刻な社会問題です。

今年度、埼玉県生協連は3つの重点課題に取り組みます。第一に核兵器廃絶・平和・憲法の学習、第二に子どもの貧困や生活困窮者への支援、第三に消費者被害防止の3つです。

消費者市民社会づくりに向けて、県行政の皆様方との相互の協力関係を一層広げ、生協の組合員のみならず、埼玉県民全体の生活安定や生活文化の向上に役立つよう、私どもも一層の努力をしていく所存です。

つきましては、生活協同組合ならびに県民生活の安定に関して、来年度、埼玉県予算ならびに行政執行上ご配慮をいただきたく、下記の諸点につきご要望申し上げます。

1. 生活協同組合の発展が県民生活の安定にとって重要との位置づけから、生活協同組合の地域づくりの役割発揮と支援策を引き続き強められるよう、次の点を要望いたします。
  - (1) 生協は、安心して暮らし続けられる豊かな地域社会づくりの取り組みを県内各地で展開しています。埼玉県と生協が連携することで、より地域を豊かにしていくことができると考えています。ともに取り組む立場から、埼玉県が策定する 5 か年計画をはじめ、消費生活、食の安全、環境、福祉、防災等の施策に、生活協同組合の役割を明記してください。
  - (2) 埼玉県消費生活協同組合役職員等研修事業委託費、埼玉県生活協同組合連合会事業活動促進費補助金については、総額を維持されるようお願いいたします。
2. 県民生活の向上・充実などにつながる諸施策について、次の点を要望します。
  - (1) 食の安全に関する対策について
    - ① 埼玉県ではこの間、3 つの中核市が誕生し、政令都市のさいたま市を合わせて、県と 4 市がそれぞれに食品衛生監視指導計画を作成しています。私たち消費者としては、埼玉県内どこに住んでいても同様の監視指導がおこなわれ、食の安全が確保されることが願いです。県と 4 市の間の連携を密にして、食の安全を確保してください。
    - ② 「ゲノム編集技術」が、食品という消費者にとって非常に身近なところで実用化されようとしています。新しい技術に対して、消費者は関心・期待を持つ一方で、安全性や予期しない悪影響などへの不安を持つものです。ゲノム編集に関しても同様の感覚を多くの消費者が持っているものと思います。消費者として、普段の暮らしの中で、知らず知らずのうちに食べていた、もしくは後から安全性に対する問題が発覚したなどの事態が生じれば、この技術に対する不信感は一層増大すると考えられます。特に、出始めのところでは、この技術を利用した食品等を選択したくない消費者も多いと思われ、これら技術を使った食品であるか、そうでないかが確実に選べるような制度が必要であると考えます。取り扱い事業者による徹底した生産・流通の管理を前提に、消費者が正しく選択できるよう表示を義務づけるなど、社会的な理解と仕組みづくりを国に求めてください。また、県民への正しい情報提供、リスクコミュニケーションの積極的な実施に努めてください。
    - ③ 全国に先駆けて制定された「埼玉県主要農作物種子条例」は国民の基礎的食料である、米、麦、大豆の種子を守り、優良な種子が安定して供給される上で、大きな役割を果たすものだと思います。条例に基づいた県独自の米・麦・大豆の優良品種育成プログラムの具体化をすすめるとともに、埼玉県として、国に対しても、引き続き、種子採取事業や検査体制を維持し、種子の安定供給を図るよう要望してください。
  - (2) 消費者行政の充実強化について
    - ① 昨年度、埼玉県消費者団体連絡会が実施した「2018 年度都埼玉県市町村における消費者関連事業調査」からは、国の交付金制度の変更や金額の削減もあり、市町村の消費者行政関連予算が厳しく、全国に先駆けて全市町村に設置された消費者センター(他自治体への委託含む)の維持で手一杯の状況であることがわかります。地方消費者行政予算の充実を国に働きかけるとともに、市町村に独自予算確保の働きかけを行ってください。
    - ② 埼玉県においては市町村がおこなう消費者安全確保地域協議会の設置が 2019 年 6 月末現在、17 市町と設置数が全国で 4 番目とトップクラスの実績をあげています。引き続き埼玉県として、福祉を担当する部局・消費生活を担当する部局が一緒にな

って先進的に取り組んできた経験を活かし、各市町村に対し、トータルで地域を見守るネットワーク形成、消費者安全確保地域協議会の設置を働きかけてください。あわせて、設置を進めるための推進体制を確保してください。

- ③ 県内消費者団体の育成を図るために埼玉県消費者大会への助成額の増大を図るとともに消費者団体研修会への委託事業の継続を求めます。

### (3) 環境対策について

- ① 近年、海洋プラスチックごみの問題が世界各国でも取り上げられ、ストローやレジ袋などの使い捨て製品を廃止する企業も出てきています。日本でもこの間、様々な検討がすすめられています。埼玉県としても対策のための施策を検討し、県内事業者にはプラスチックの使用量削減、再生プラスチック、植物由来プラスチックへの切りかえなどの呼びかけるとともに、プラスチックごみ削減や、リサイクルについて県民への周知を行ってください。
- ② 埼玉県指定旧跡「三富開拓地割り遺跡」である「三富新田」は、循環型農業の価値が認められ日本農業遺産として認定されました。しかし、一方では後継者不足、相続税対策などで循環型農業の要である平地林が伐採され開発がすすんでいます。特に近年は、いままでになく開発のスピードが加速しており、雑木林が減少しています。埼玉県としても、今以上に循環型農業の推進と環境保全活動を積極的に進めてください。また、市民団体が行う保全活動をサポートしてください。

### (4) 福祉・医療を支える取り組みについて

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業の中で、各市町村が提供する多様なサービスは、現在も十分に整備されているとは言えません。また、市町村の財源や体制により格差が生まれることは好ましくありません。埼玉県民が安心して老後を過ごせるように、埼玉県として市町村の多様なサービスの実施状況調査、サービスづくりへの支援をおこなってください。
- ② 今後、高齢者を地域で支えるためには、住民どうしが地域で支えあう住民参加型在宅福祉サービスを行っている団体や、高齢者の身近なところで開催しているミニデイサービス等を行っている団体の役割は重要です。埼玉県として、運営に関わる費用などの支援をおこなってください。
- ③ 埼玉県生協連の会員生協でも介護事業に取り組んでおりますが、介護に関わる人材は不足しています。人材の確保と質的な充実を目指す意志を埼玉県としてしっかりと打ち出して、施策をすすめてください。すでにおこなっている施策を継続するとともに、定着できるよう住宅費の支給を自治体の施策でおこなうなど、就労支援対策の施策充実をおこなってください。
- ④ 埼玉県における医師不足の状況は、改善がみられるものの依然として低い状況にあります(43 位)。すでにおこなっている施策を継続するとともに、定着できるよう住宅費の支給を自治体の施策でおこなうなど、就労支援対策の施策充実をおこなってください。

### (5) 子どもや高齢者を地域で支える取り組みについて

- ① 埼玉県がこども応援ネットワーク埼玉を立ち上げ、見えにくい子どもの貧困問題への理解を進める活動や地域での子どもの居場所づくりなど、子どもを見守りサポートする施策を充実させていることに敬意を表します。引き続き、ネットワークを広げるサポートと、居場所の運営ノウハウ(食品衛生も含む)や運営に関するサポートの実施を要望します。

- ② 平成 25 年住宅・土地統計調査(総務省統計局)によると、利用目的のない空き家は埼玉県内で 11 万戸になるとの統計があります。また、2032 年には空き家が 84 万戸に達すると予測されています。そのままにすれば地域活力の低下や、適正に管理されていない空き家は周囲に悪影響を及ぼします。こうした空き家を地域の居場所として活用し、新たなコミュニティの場としていくような施策を検討してください。
- ③ 高齢者や障害をお持ちの方に対する住環境の改善を促進してください。埼玉県の施策として、賃貸住宅のバリアフリー化や老朽化への対応、耐震化等、安全安心な住宅を維持管理するためのリフォーム補助金の制度をより充実させてください。また、国にも要望してください。

### 3. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に関し、次の点を要望します

- (1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催まで間もなく 1 年となります。埼玉県においても 4 つの競技が開催されることになっていますが、開催にあたり大規模な交通規制などが実施され、生協の物流配送や組合員宅への配達に大きな影響が発生するのではないかと心配しています。東京都生協連では東京都オリンピック・パラリンピック準備局と大会期間中の交通規制について意見交換会を実施しております。物流に混乱が生じないためにも、埼玉県オリンピック・パラリンピック課など、運営を担う部局と、埼玉県生協連会員生協配送担当責任者との意見交換会の開催を要望します。

### 4. 防災・減災、東日本大震災被災者支援について、次の点を要望します

- (1) 大規模地震や近年多発する局地的風水害等に対する備えをより一層強化するとともに、県民に被害想定や事前の備えなどに関する啓発をおこなってください。
- (2) 昨年 12 月、事前の会議を経て、民間のボランティアネットワーク「彩の国会議」が発足しました。引き続き、普段からのボランティア育成、情報交換のできるネットワークづくりの推進、サポートを埼玉県として実施してください。
- (3) 東日本大震災から 8 年が過ぎました。原発事故によって福島県内の避難指示区域以外から逃れてきた「自主避難者」への住宅の無償提供が、現在打ち切られています。県内における避難者が、帰還できるまで埼玉県民とともに、地域の中で安心してくらせるように支援の継続をお願いします。また、3,025 人が県内に避難している福島県（2019 年 6 月 11 日現在復興庁資料）と、情報を共有しあい、避難者における問題の解決に尽力してください。



## 埼玉県生協連 2019 年度第 1 回災害対策委員会開催報告

日時：2019 年 7 月 25 日（火）13:30～15:00 埼玉県生協連 1 階会議室

出席：笹沼文晴（コープデリ連合会）、東海林洋子（コープみらい）、堀籠克衛・石井比利（パ  
ルシステム埼玉）、原雅典（生活クラブ生協）、村田比呂嗣（労済生協）、桜井博孝（コ  
ープデリ連合会）、保土田毅（医療生協さいたま）、吉川尚彦・清水勤（埼玉県生協連）  
\*下線は欠席

### 【議題】

#### 1. 協議事項

##### （1）埼玉県生協連災害対策委員会／委員長の理事会推薦について

委員長については 9 月理事会議決事項であることを了解のうえ、コープデリ生活協同組  
合連合会安全推進・法務部部長の笹沼文晴さんで確認しました。

##### （2）第 40 回九都県市合同防災訓練埼玉県会場／8 月 31 日（日）・和光市

①第 40 回九都県市合同防災訓練概要について資料で説明しました。

②防災フェアについて資料で説明し、以下、確認しました。

###### ○企画（展示内容）

コープみらい「防災クイズ」、パルシステム埼玉「配布訓練（飲料）」  
生活クラブ生協「配布訓練（菓子）」、医療生協さいたま「握力チェック」、  
労済生協「配布訓練（未定）」の内容で確認しました。コープデリ連合会、埼玉県  
生協連も訓練に参加します。

###### ○参加人数（組合員・役職員）

各生協で組合員、役職員の参加人数を集約し、埼玉県生協連で取りまとめることと  
し、参加人数を考慮して、駐車許可証を各生協に割り振ることとしました。

###### ○当日の運営について

ブースが狭いため、机の配置状況等を考慮し、防災クイズや配布訓練の段取りを  
考えます。

当日のスケジュール（集合時間等）を確定し、各生協の担当者に連絡する。荒天  
等による中止の場合の緊急連絡網を、各生協の担当者に連絡します。

##### （3）MCA 無線訓練について（訓練概要等）

次回 8 月 1 日（木）14：00。今回から、無線連絡の順番を変更すること、可能な範囲で、  
いろいろな職員が無線訓練を担当することとしました。

#### 2. 2018 年度の防災・減災の取り組み報告（各生協からの報告 5 分×6 生協）

○各生協から無線訓練や安否確認を中心に報告がされました。また、各生協の備蓄状況や  
MCA 無線に代わる通信手段方法などについて意見交換しました。

○第 1 回中央地連大規模災害対策委員会の報告から、県や各自治体の物資支援拠点から避  
難所までのラストマイルの取り組みについて、埼玉県の担当者を交えた意見交換の場の  
設定や、各連合会等の BCP 対策について情報交換したいとの要望が出されました。

#### 3. その他

・第 2 回災害対策委員会の開催日について

候補日：10 月 28 日（月）、10 月 30 日（水）、10 月 31 日（木）

労済生協の村田さんと調整後、各生協に連絡し確定します。

以上



# 2019 コヨット in 埼玉

別紙4

## ただ今超絶人気中！

## 「ムーミンバレーパークと鉄道博物館」

## 親子でたのしんじゃおう

### 9月14日（土）～15日（日）1泊2日



14日（土）

- ・福島駅西口 7：00出発
- ・郡山駅西口 8：00出発 朝食（×）
- ・昼食（高速道路PA 各自）
- ・ムーミンバレーパーク（お弁当持ち込み×）
- ・夕食（○）
- ・親子レクリエーション

15日（日）

- ・朝食（○）
  - ・鉄道博物館（昼食 ○）
  - ・郡山駅・福島駅に向けて出発！ 夕食（×）
- 全行程、バスでの移動になります。  
バス会社 協和交通(株)



宿泊先	9月14日（土）	埼玉県入間郡越生町古池 700
	ニューサンピア埼玉おごせ	電話：049-292-6113 1組＝1部屋
参加対象	福島県在住の小学2年生～小学6年生と保護者	
募集人数	15組 35人（1組＝保護者1人・こども2人まで） <b>大人は1人まで</b> ※応募多数の場合は抽選となります。	
参加費	大人1人 8,000円	こども1人 5,000円
出発地	9月14日（土）	福島駅 7時／郡山駅 8時出発 バスで移動
帰着地	9月15日（日）	郡山駅 17時30分・福島駅 18時30分到着（予定）
申込方法	福島県生協連のホームページよりお申込みください。	
応募締切	8月16日（金）午前中	
その他	①詳しい持ち物については、参加者にお送りする「しおり」で確認してください。 ②アレルギー調査票、健康チェック表など、お子さんの安全を守るために事前にご記入いただきます。ご協力をお願いします。 ③天候などの事情で、開催中止や企画内容が変更になる場合があります。ご承知おきください。 ④施設見学でのアトラクション代金は、各自負担となります。 ⑤夕食は、大人用と子供用になります。	

【内容に関するお問い合わせは】

埼玉県生活協同組合連合会 担当 清水 勤

☎048-844-8971 9時～17時（土日祝休）

【お申込みにに関するお問い合わせは】

福島県生活協同組合連合会 担当 根本

☎024-522-5566 9時～16時（土日祝休）

主催：埼玉県生活協同組合連合会・埼玉県ユニセフ協会

旅行企画：コープトラベル東北 コープトラベルみやぎ 観光長官登録旅行業第1122号

総合旅行業務取扱管理者 五十嵐めぐみ

2019. 7. 24

埼玉消費者被害をなくす会 青木和彦

### ●消費者被害防止サポーターを対象としたフォローアップ研修・交流会を実施しました。

消費者被害防止サポーターによる啓発活動のためのスキルアップや、行政と連携した活動の広がりを目指す、2019年度地区別フォローアップ研修、交流会がスタートしました。今年度は「キャッシュレス社会の広がり」と電子マネー決済の注意点を学ぶ」をテーマに7会場で研修を実施し、サポーター171人が参加しました。

参加したサポーターからは、「決済が便利になることは悪質業者にとっても匿名性などで便利になることがわかった」「カード決済の明細を点検すべきだと思った」「家族に伝えたい」などの感想が寄せられました。

また、消費者行政を担当する自治体職員への参加の案内を強め、7会場合計で15人の職員が参加され、啓発活動の取り組みや計画について報告していただきました。

報告後にはサポーター同士の交流に自治体の職員も加わり、具体的な啓発活動の内容などについて話し合い、寸劇をやってみることが決まったグループもありました。



### ●福祉見守り担当者講座を開催しました。

2019年度は年4回の開催計画として受託しましたが、5市1町から開催申し込みがあり、会場費やテキスト印刷などの協力を得ることで、計画を超えて実施できる予定です。

7月11日に坂戸市で開催した講座には、「坂戸市区長会」の方々103人が参加しました。坂戸市では4月1日に「消費者安全確保地域協議会」を設置し、その構成メンバーである区長会の方々に、消費者被害の手口や状況の理解と、地域での見守り活動を進めるうえでのポイントを学ぶ場と位置づけて、講座を実施しました。



# NO NUKES!

別紙6

## 2019 さよなら原発埼玉県民集会



**日時：**2019 年 10 月 5 日(土)午後 1 時 50 分 (1 時 30 分開場)

**場所：**市民会館おおみや大ホール (JR大宮駅東口から徒歩 15 分)

**参加費：**無料 (さよなら原発埼玉県民集会は、個人・団体の募金で実施しています)

主催／2019 さよなら原発埼玉県民集会実行委員会

＜埼玉県原爆被害者協議会、埼玉県生活協同組合連合会、原水爆禁止埼玉県協議会、埼玉県平和運動センター他＞

◆お問い合わせ先 TEL 048-844-8971 (埼玉県生協連内 実行委員会事務局)



# プログラム

◆10時～12時〔市民会館おおみや第5集会室〕

## 2019 さよなら原発埼玉県民集会 県内団体交流会

◆13時50分～16時30分〔市民会館おおみや大ホール〕

## 2019 さよなら原発埼玉県民集会

13時50分 アトラクション 埼玉のうたごえ協議会

14時 開会

報告① 瀬戸大作さん(避難の協同センター事務局長)

報告② 鈴木直子さん(原発避難者と歩む@川越)

記念講演 講師：小出裕章氏

「(仮のテーマ) フクシマ事故が私たちに問うこと」

略歴 1949年 東京生まれ 1974年 東北大学工学部原子核工学科、同大学院修了  
1974年 京都大学原子炉実験所助教 2015年 3月定年退職（退職後松本市へ移住）  
主な著書 『放射能汚染の現実を超えて』（2011年5月、河出書房新社）『小出裕章 原発と憲法9条』（2012年1月、遊絲社）『騙されたあなたにも責任がある』（2012年4月、幻冬舎）『100年後の人々へ』（2014年8月、集英社新書）他多数

16時30分 閉会

### 市民会館おおみや

#### アクセス方法



電車でお越しの方

【大宮駅をご利用の場合】

JR線・ニューシャトルほか 大宮駅東口より徒歩15分

市民会館おおみや

〒330-0844 さいたま市大宮区下

町3-47-8

TEL. 048-641-6131

## 2019 年度 埼玉県生協連 7 月度活動報告

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
7/3	第 1 回組合員学習会（吉川・清水桂・清水勤・加藤） 中央地連組合員理事交流会（大久保） 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会越谷会場（青木）
7/8	第 40 回九都県市合同防災訓練事前会議（清水勤） 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会東松山会場（青木）
7/9	第 97 回国際協同組合デー記念中央集会（吉川・大久保・清水桂） 埼玉消費者被害をなくす会第 1 回活動委員会（清水勤・田中）
7/10	JCA 全国交流集会（吉川） 平和・市民 5 団体懇談会（大久保・加藤） 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 3 回実行委員会（大久保・加藤）
7/11	中央地連大規模災害対策協議会（吉川・加藤） 埼玉県消費者団体連絡会幹事会（吉川・大久保・清水桂） 埼玉県プラスチック問題対策協議会（大久保） 福祉見守り担当者講座坂戸市会場（青木）
7/12	第 55 回埼玉県消費者大会プレ学習会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤） 第 55 回埼玉県消費者大会第 4 回実行委員会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木）
7/16	2030 SDGs カードゲーム学習会（大久保） 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修川越市会場（青木）
7/17	第 1 回県連活動推進会議全国版（吉川）
7/18	第 1 回県連活動推進会議全国版（吉川） NPT 再検討会議に向けた学習交流会（吉川）
7/19	消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会飯能市会場（青木）
7/23	中央地連第 1 回運営委員会（吉川） 地域生協と中央労働金庫との懇談会（吉川）
7/24	フードバンク埼玉第 2 回理事会・運営委員会（吉川・大久保・清水桂）
7/25	第 1 回災害対策委員会（吉川・清水勤） 2019 平和のための埼玉の戦争展設営（加藤）
7/27	埼玉県企画財政部・福祉部・環境部訪問（吉川・大久保・清水桂・加藤） 2019 平和のための埼玉の戦争展（加藤） 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式前日設営（大久保・清水桂・加藤）
7/28	第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤） ヒバクシャ署名行動（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤） 2019 平和のための埼玉の戦争展（加藤）
7/29	埼玉県労働者共済生活協同組合第 57 回通常総代会（吉川・加藤） 埼玉消費者被害をなくす会第 1 回理事会（吉川・清水勤・田中） 埼玉消費者被害をなくす会 7 月検討委員会（吉川・清水勤・田中）
7/30	日本生協連ビジョンワークショップ（大久保・加藤） 全国消団連ゲノム編集学習会（吉川）
7/31	2019 年度第 1 回埼玉県と埼玉県生協連定期協議（吉川・大久保・清水勤・加藤）

## 2019 年度 埼玉県生協連 8 月度の活動予定

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
8/1	埼玉県消費者団体連絡会幹事会（吉川・大久保・清水桂） 子どもの未来アクション「子どもの未来アンバサダー講習会」(大久保) 中央地連 MCA 無線訓練（清水勤） 消費者被害防止サポーター全体研修会・交流会さいたま市会場（青木） 消費者大会実行委員会正副打合せ（吉川・清水桂）
8/2	埼玉県労働者福祉協議会第 3 回理事会（吉川） 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会（吉川・清水勤）
8/4	ピースアクション in ヒロシマ（吉川）
8/5	ピースアクション in ヒロシマ（吉川）
8/6	ピースアクション in ヒロシマ（吉川）
8/7	ピースアクション in ナガサキ（清水桂） 埼玉消費者被害をなくす会第 2 回活動委員会（清水勤・田中）
8/8	ピースアクション in ナガサキ（清水桂）
8/9	ピースアクション in ナガサキ（清水桂）
8/21	第 55 回埼玉県消費者大会第 5 回実行委員会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/22	景品表示法啓発講座熊谷市会場（青木） 埼玉県卸売市場審議会（大久保） 第 1 回活動委員会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/23	全国消費者大会実行委員会（吉川・大久保・清水桂） 全国消団連理事会・運営会議（吉川） 埼玉消費者被害をなくす会 8 月検討委員会（吉川・清水勤・田中）
8/27	県内消費者団体全体研修会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/28	埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会（清水勤・田中） 平和市民 5 団体懇談会（吉川・加藤） 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 4 回実行委員会（吉川・大久保・加藤） さよなら原発埼玉県民集会第 4 回実行委員会（吉川・大久保・加藤）
8/29	第 1 回常務理事会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/31	2019 年度九都県市合同防災訓練和光市（吉川・清水桂・清水勤・青木・加藤）